

新しいクオリティへ、新しいスピードで。

『リそな』

HUMAN COMMUNICATION

平成19年度決算 (平成20年3月期) 発表時説明資料

平成20年5月16日

 **リそなホールディングス**
RESONA

I. 平成19年度決算ハイライト

○ HD連結・当期純利益の前年度比増減要因

(単位:億円)

■ HD連結純利益は3,028億円を計上... Page1,2

- ・ 予想比+728億円(+31.6%)の増益、前年度比△3,620億円(△54.4%)の減益
 ⇒ 予想比増益：東京本社ビル売却に伴う繰延税金資産増加(+532億円)等
- ・ 期末合算利益剰余金11,659億円を確保
 ⇒ 公的資金優先株式残存額(注入額ベース)の約80%※に到達 ※ HD単体 その他資本剰余金: 4,499億円を含む

■ 税引前当期利益は前年度比△1,033億円(△24.2%)の減益... Page1,2

- ・ 純投資国内株式型投資信託等の損失計上(△418億円)に伴う連結粗利益、株式関係損益の減少が主要因

■ 強みのあるビジネス分野は収益基盤を拡充... Page3,4

- ・ 預貸金利益(銀行合算)は前年度比+148億円(+3.2%)の増益
 ⇒ 貸出金残高は伸び悩むも、預貸金利回り差は前年度比+11.5bp
- ・ 個人向け投資商品は販売ペース減速に伴い減益乍ら、残高増加基調を堅持
- ・ 不動産は前年並みの手数料を確保、企業年金は新規受託件数が3倍増

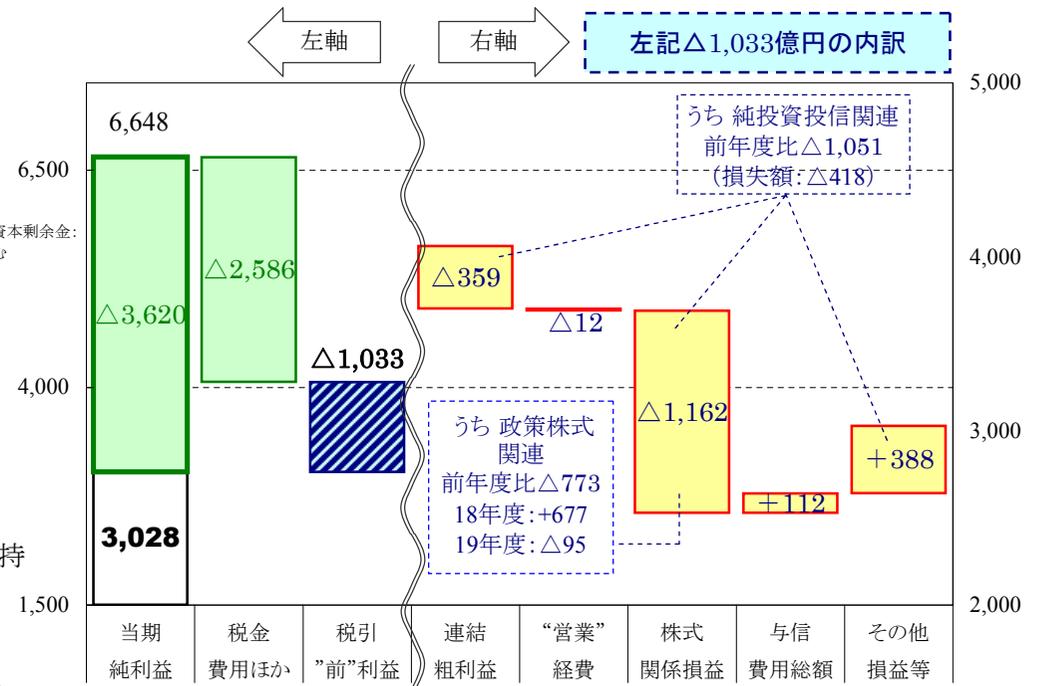
■ 与信費用、不良債権比率は前年度比改善... Page6

- ・ 質を重視した貸出金運営の徹底により、不良債権比率(銀行合算)は2.1%台へ
- ・ 取立益発生等に伴い、与信費用は前年度比+112億円改善

■ 公的資金返済に向けた取組みを継続... Page5

- ・ 優先株式発行:4,500億円、劣後ローン返済:350億円
- ・ 自己株式取得を可能とすべく健全化計画を一部見直し

※ 20年3月末自己資本比率実績、並びに21年3月末自己資本比率見込につきましては算出次第、後日改めてお知らせいたします【参考】19年12月HD連結自己資本比率:13.66%、Tier1比率:9.42%



HD《連結》	20年3月期 (19年11月公表)			HD《単体》	20年3月期 (19年11月公表)		
	19/3期比	予想比			19/3期比	予想比	
経常収益	11,144	△388	+244	営業収益	6,004	+2,046	+4
経常利益	2,337	△1,761	△363	経常利益	5,902	+2,058	+2
当期純利益	3,028	△3,620	+728	当期純利益	6,246	+2,055	+346

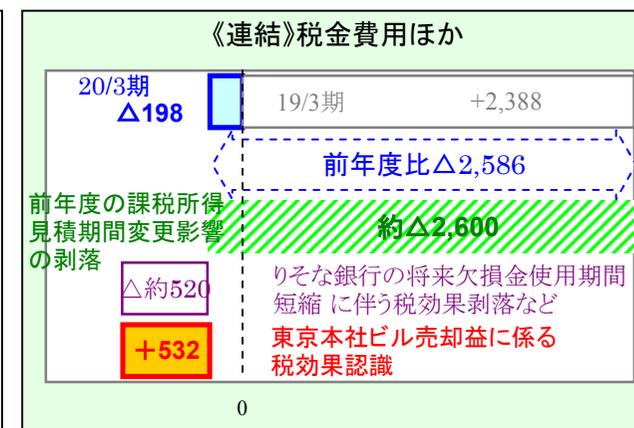
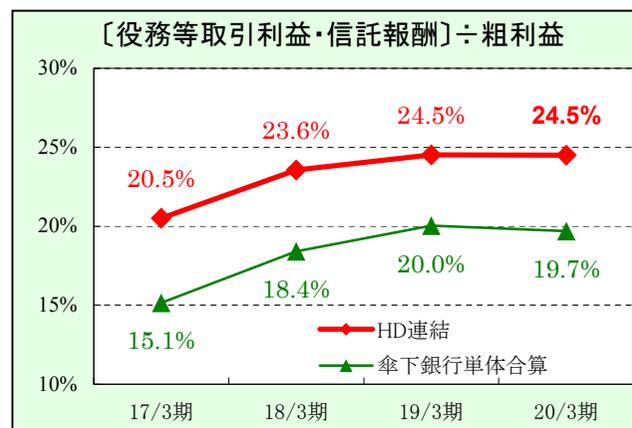
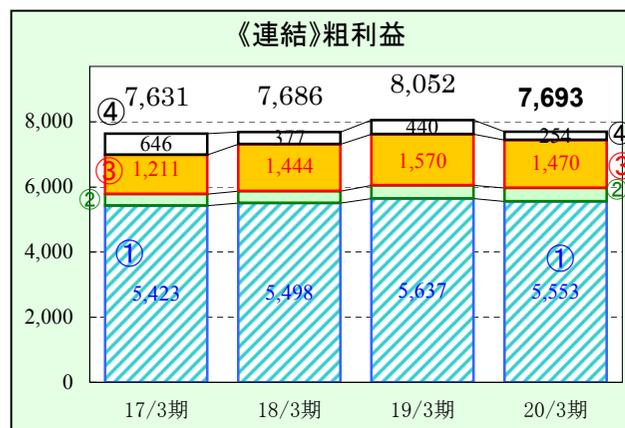
	銀行合算《単体》 (19年11月公表)			りそな《単体》		埼玉りそな		近畿大阪《単体》		りそな信託	
	【20年3月期】	19/3期比	予想比	19/3期比	19/3期比	19/3期比	19/3期比	19/3期比	19/3期比		
実勢業務純益*1	3,378	△441	△92	2,108	△522	852	+89	225	△20	191	+11
業務粗利益	7,000	△359	△140	4,443	△482	1,580	+108	666	△2	310	+17
うち預貸金利益*2	4,740	+148		3,087	+74	1,132	+67	520	+6	△0	△0
うち経費(△)	3,621	+77	△49	2,333	+35	727	+19	441	+18	118	+5
経費率(信託勘定処理考慮)	51.7%	+3.6%		52.5%	+5.9%	46.0%	△2.0%	66.1%	+2.9%	38.2%	△0.4%

*1 実勢業務純益:信託勘定不良債権処理額、一般貸倒引当金繰入額を除いた業務純益 *2 預貸金利益:国内部門、銀行勘定、預金に譲渡性預金を含む

注1):金額については単位未満を切捨て表示
 注2):原則、各傘下銀行の単体計数を表示

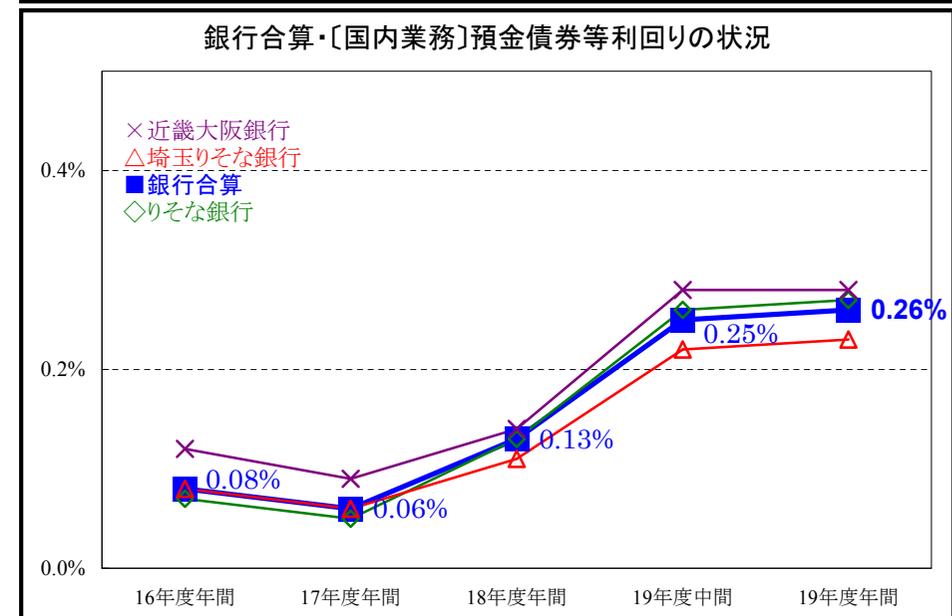
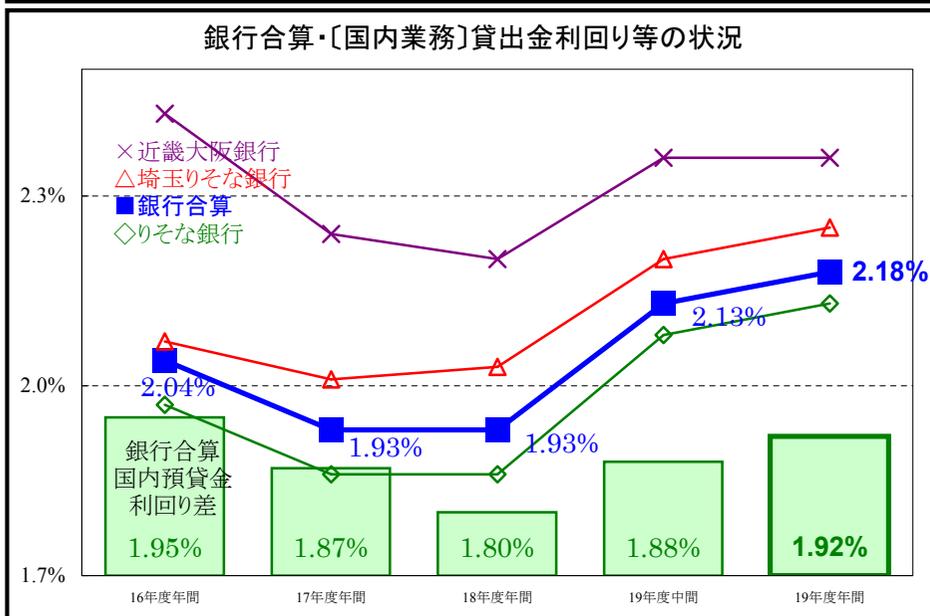
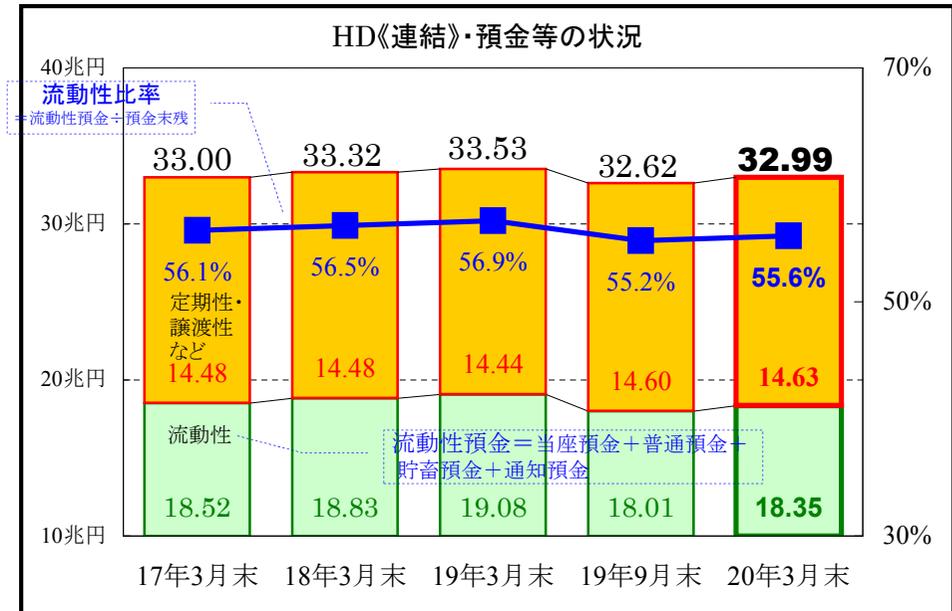
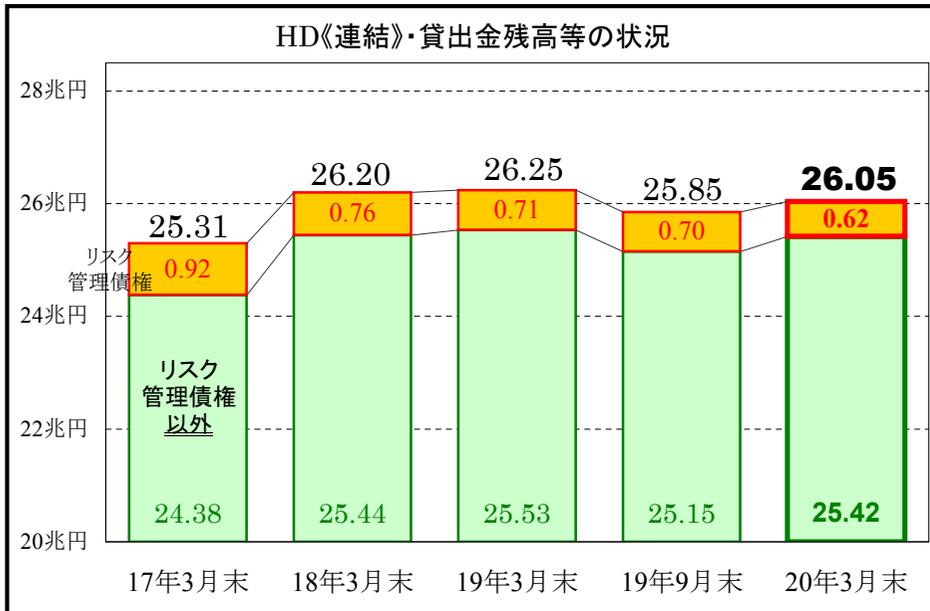
Ⅱ. 平成19年度の損益概要等

	HD《連結》		連単差 (A)-(B)	傘下銀行 単体合算		うち				連単差(A)-(B)の 内訳など 〔概数〕
	(A)	19/3期比		(B)	19/3期比	りそな 〈単体〉	埼玉りそな	近畿大阪 〈単体〉	りそな信託	
粗利益〔連結/業務〕	7,693	△359	+692	7,000	△359	4,443	1,580	666	310	
債券損益除き	7,620	△357	+692	6,927	△357	4,406	1,542	669	310	
① 資金利益	5,553	△83	+181	5,372	△74	3,428	1,358	584	1	カード83他
② 信託報酬	413	+9	—	413	+9	86	—	—	327	
③ 役員取引等利益	1,470	△99	+500	970	△99	694	215	78	△18	保証280、カード154、他
④ その他業務粗利益	254	△185	+10	243	△194	233	6	3	—	
実勢業務純益				3,378	△441	2,108	852	225	191	(信託勘定不良債権処理額、一般貸倒引当金繰入額を除いた業務純益)
コア業務純益				3,305	△440	2,071	814	227	191	(債券関係損益、信託勘定不良債権処理額、一般貸倒引当金繰入額を除いた業務純益)
“営業”経費(△)	3,859	+12	+305	3,553	+15	2,243	741	449	118	カード162、保証32、のれん償却72他
株式関係損益	△438	△1,162	+20	△458	△1,150	△446	△3	△8	—	キャピタル9他
与信費用総額(△)	584	△112	+197	387	△81	212	119	55	—	保証154、カード66、他
その他損益等	416	+388	△4	420	+385	506	△25	△58	△2	
税引“前”当期純利益	3,226	△1,033	+205	3,021	△1,058	2,046	690	94	189	
税金費用ほか(△)	198	+2,586	△221	420	+2,486	59	285	△1	76	少数株主利益91、HD税金費用△343
税引後当期純利益	3,028	△3,620	+427	2,601	△3,544	1,987	405	96	112	



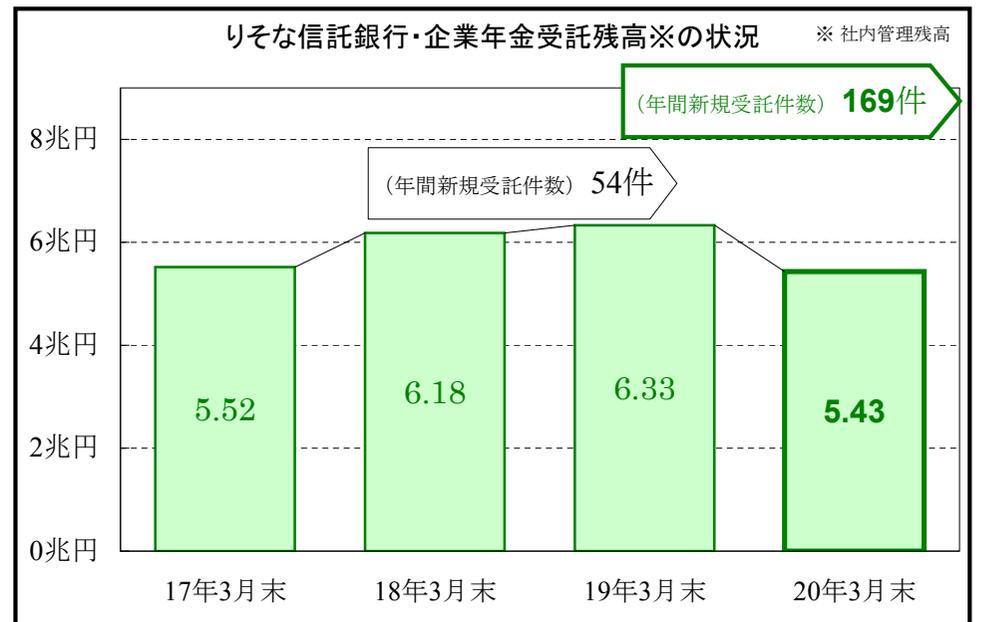
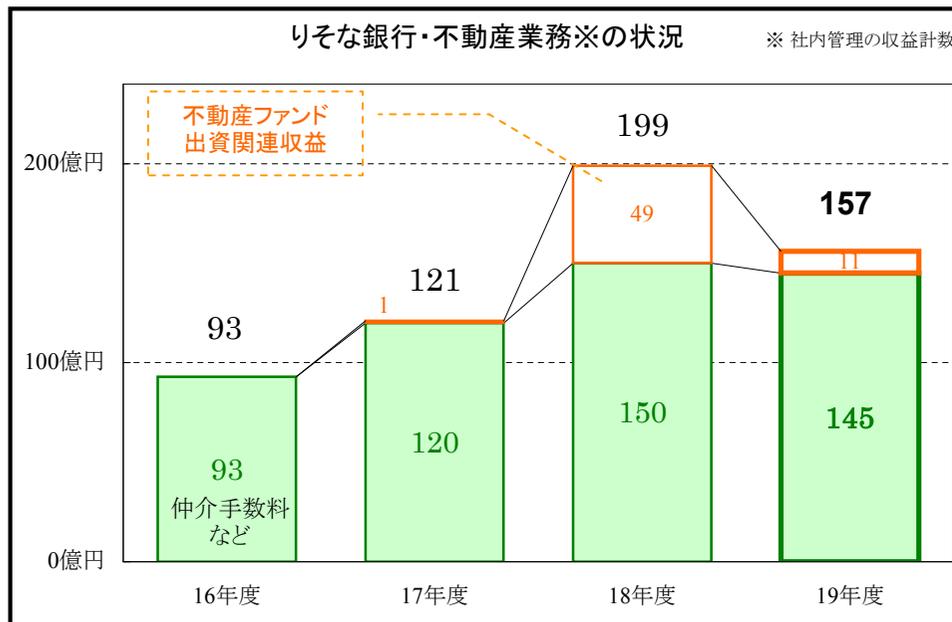
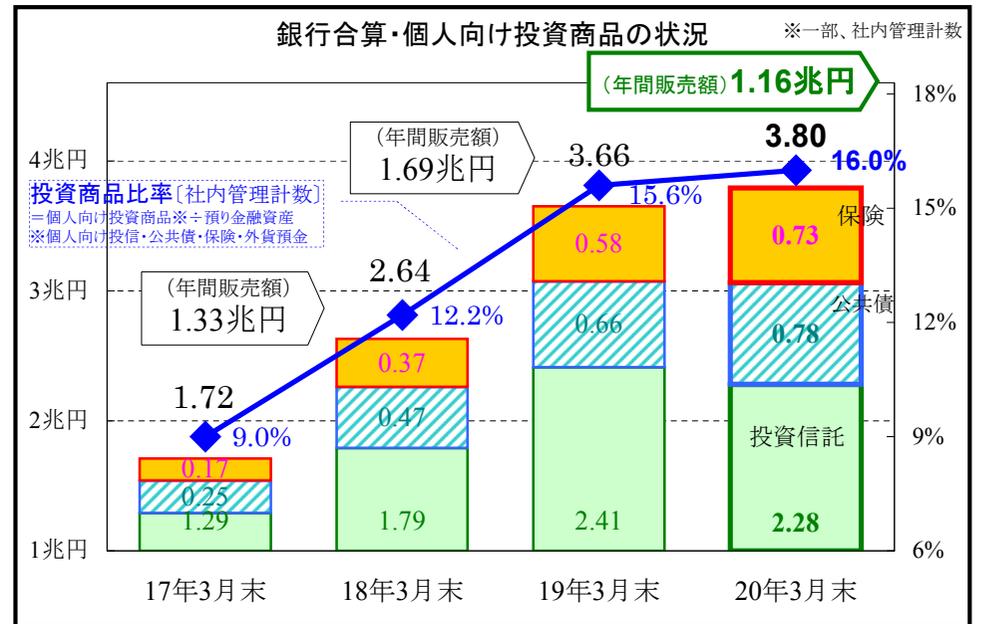
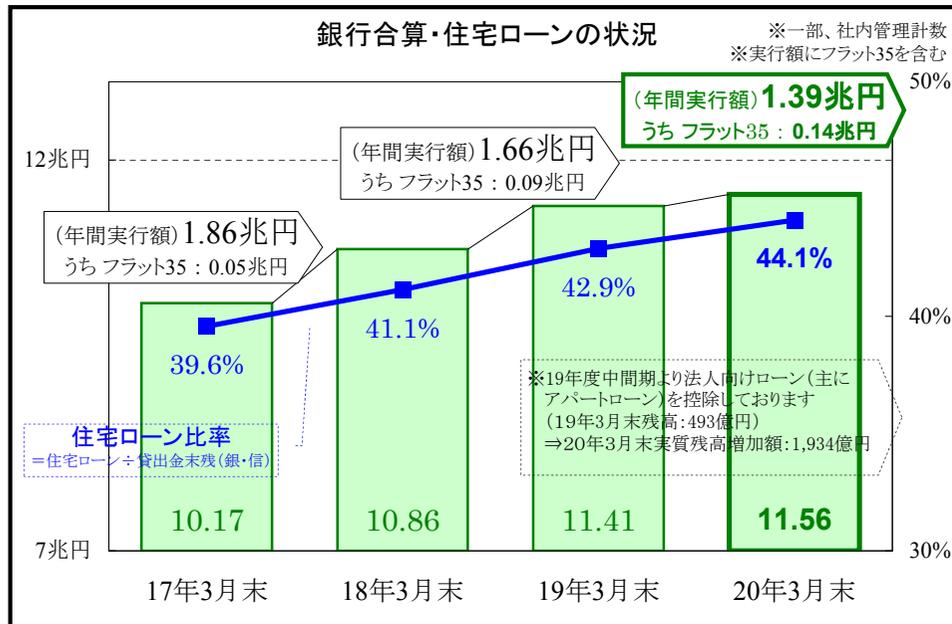
注1:金額については単位未満を切捨て表示
注2:原則、各傘下銀行の単体計数を表示

Ⅲ. 預貸金の状況



注1:金額については単位未満を切捨て表示
注2:原則、各傘下銀行の単体計数を表示

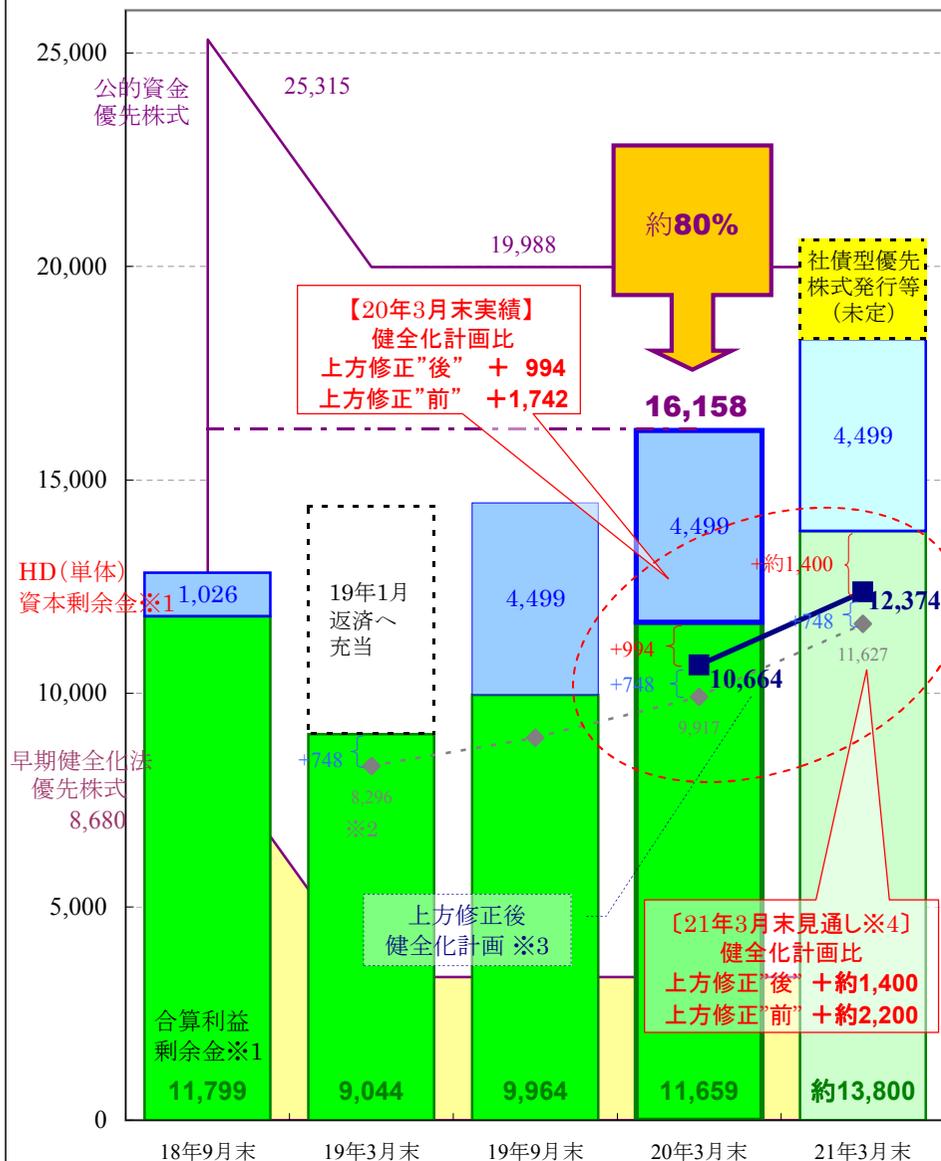
IV. 強みのあるビジネス分野の状況



注1: 金額については単位未満を切捨て表示
注2: 原則、各傘下銀行の単体計数を表示

V. 単体合算の利益剰余金等

【参考】今後の公的資金返済原資の積み上がりイメージ



	一斉転換 (初回コール)	15年9月末残高	20年3月末残高	②-①
		①	②	
公的資金合計		31,280	23,375	▲7,904
優先株式		25,315	19,988	▲5,327
早期健全化法		8,680	3,352	▲5,327
乙種	H.21.4	4,080	1,633	▲2,446
丙種	H.27.4	600	600	—
戊種	H.21.12	3,000	119	▲2,880
己種	H.26.12	1,000	1,000	—
預金保険法		16,635	16,635	—
第1種	定めなし	5,500	5,500	—
第2種	定めなし	5,635	5,635	—
第3種	定めなし	5,500	5,500	—
劣後ローン		3,000	450	▲2,550
金融安定化法		2,000	—	▲2,000
早期健全化法	H.21.3	1,000	450	▲550
普通株式	定めなし	2,964	2,937	▲27

一健全 部全 見化 直計 し画	適切な自己資本比率を維持	潜在株式への対応
	〔HD連結〕 自己資本比率: 9%以上 Tier1比率: 5%以上 を目標	〔転換時の希薄化リスク〕 当社普通株式の市場での 取得も検討

- ※1. 利益準備金、資本準備金を除く
- ※2. H19/1返済考慮後合算剰余金計画
- ※3. H20/4上方修正後合算剰余金計画
- ※4. H21/3末の見通しは、業績予想を前提に傘下銀行の利益上振れ他、東京本社ビル売却に伴う土地評価差額金取崩(+158億円)を単純加算
- ※5. 実際の返済額は記載の公的資金優先株式残存額(注入額ベース)と異なる可能性があります

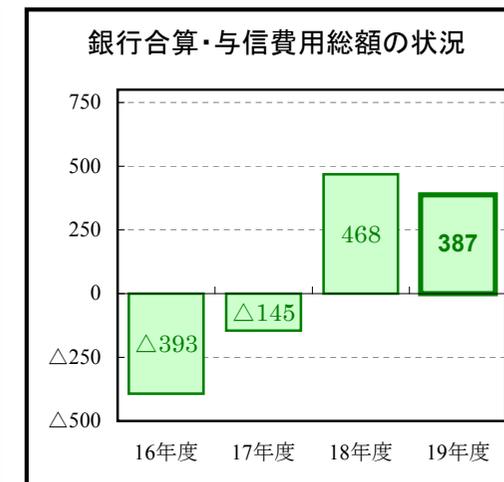
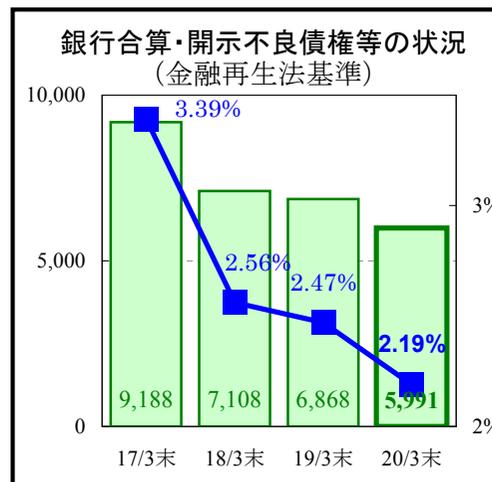
注1:金額については単位未満を切捨て表示
 注2:原則、各傘下銀行の単体計数を表示

(単位:億円)

VI. 開示不良債権・与信費用の状況

	銀行合算	りそな	埼玉りそな	近畿大阪
破産更生債権等	741	452	135	153
危険債権	3,428	2,413	572	441
要管理債権	1,822	1,460	180	181
開示不良債権計	5,991	4,326	888	776
19年3月末比	△876	△723	+15	△168
不良債権比率※1	2.19%	2.36%	1.41%	2.83%
19年3月末比	△0.27%	△0.27%	△0.03%	△0.61%

※1. 開示不良債権計÷金融再生法基準開示債権総合計(総与信)【銀行合算】



	銀行合算	りそな	埼玉りそな	近畿大阪
信託勘定処理	△1	△1	—	—
一般貸引繰入額	△138	△104	△0	△33
個別貸引繰入額	141	62	55	24
償却他処理額	749	565	90	93
償却債権取立益	△363	△309	△25	△28
与信費用総額(△)	387	212	119	55
① 新規発生	1,667	1,281	207	178
② 区分改善	△308	△281	△4	△23
③ オフバランスなど	△832	△682	△83	△65
④ 一般貸引	△138	△104	△0	△33

- ① 新規破綻・債務者区分劣化等の損失
 ② 債務者区分の改善に伴う引当金取崩等を合算
 ③ 破綻懸念先以下の債権回収に加えて、オフバランス等に伴う引当金取崩および償却債権取立益等を合算

注1:金額については単位未満を切捨て表示

注2:原則、各傘下銀行の単体計数を表示

VII. 有価証券の評価損益等の状況

サブプライムローンに関連する
投融資残高はなし※3

	銀行合算	りそな	埼玉りそな	近畿大阪	りそな信託
満期保有目的	58	—	58	—	—
その他有価証券	1,722	1,367	337	17	0
合計※2	1,781	1,367	396	17	0
19年3月末比	△2,521	△1,683	△765	△72	+0
債券	△241	△242	△6	7	0
株式	2,049	1,576	427	46	—
その他	△27	33	△25	△35	—

※2. 「有価証券」のほか、「現金預け金」中の譲渡性預け金、「買入金銭債権」中のコマーシャル・ペーパー、信託受益権を含む

※3. 海外ファンド・オブ・ファンズを通じた関連資産への間接投資:0.3億円程度あり

(単位:億円)

Ⅷ. 平成20年度の業績予想

	HD《連結》		
	(中間期予想)	[年間予想]	19年度実績比
連結経常収益	5,200	10,500	△644
連結経常利益	1,200	2,700	+363
連結当期(中間)純利益	1,500	2,500	△528

期末自己資本比率見込	算出次第、後日改めてお知らせいたします
------------	---------------------

※1. 配当方針は「決算短信」1. 経営成績(3)利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当をご覧ください

※2. 配当状況・予想の詳細については「決算短信」表紙2. 配当の状況をご覧ください

(単位:億円)	HD(単体)		
	(中間期予想)	[年間予想]	19年度実績比
営業収益	500	1,800	△4,204
営業利益	400	1,700	△4,199
経常利益	400	1,700	△4,202
当期(中間)純利益	500	1,900	△4,346

21年3月期末普通配当予想※1、2	1,000円
-------------------	--------

21年3月期末優先配当予想※2	所定の配当
-----------------	-------

	銀行合算【概数】				りそな		埼玉りそな		近畿大阪		りそな信託	
	(中間期予想)	[年間予想]	19年度実績比	【健全化計画】	(中間期予想)	[年間予想]	(中間期予想)	[年間予想]	(中間期予想)	[年間予想]	(中間期予想)	[年間予想]
業務粗利益	3,545	7,210	+210	7,540	2,245	4,580	805	1,615	345	700	150	315
経費(△)	1,895	3,830	+209	3,880	1,215	2,450	385	770	235	485	60	125
実勢業務純益	1,650	3,380	+2	3,660	1,030	2,130	420	845	110	215	90	190
経常利益	1,225	2,620	+495	3,080	740	1,620	360	715	35	100	90	190
税引“前”当期(中間)利益	2,375	3,840	+819	3,000	1,895	2,850	355	705	35	100	90	190
税引後当期(中間)純利益	1,415	2,330	△271	2,260	(平成17年度より連結納税制度を採用しております)							

株式関係損益	—	—	+458	80	—	—	—	—	—	—	—	—
与信費用総額(△)	220	600	+213	600	140	430	45	85	35	75	—	—

期末自己資本比率見込	算出次第、後日改めてお知らせいたします
------------	---------------------

本資料中の将来に関する記述(将来情報)は、次のような要因により重要な変動を受ける可能性があります。即ち、本邦における株価水準の変動、政府の方針、法令、実務慣行及び解釈に係る展開及び変更、新たな企業倒産の発生、日本および海外の経済環境の変動、並びにりそなグループのコントロールの及ばない要因等が考えられます。本資料に記載された将来情報は、将来の業績その他の動向について保証するものではなく、また実際の結果と比べて違いが生じる可能性があることにご留意下さい。併せて、決算短信「1. (1)～(2)経営成績、財政状態に関する分析」、有価証券報告書、ディスクロージャー誌など各公表済の最新資料をご参照下さい。

注1:金額については単位未満を切捨て表示

注2:原則、各傘下銀行の単体計数を表示